

白馬インターナショナルスクールの開校後の状況について

県民文化部 県民の学び支援課

概要

- 1 名称 白馬インターナショナルスクール  
校長 クリス・バーム
- 2 位置 白馬村大字北城 1 1 2 9 0 - 1
- 3 設置者 白馬インターナショナルスクール  
理事長 草本 朋子
- 4 学則定員 90 人
- 5 開校年月日 令和 6 年 4 月 1 日

1 生徒数の状況

	7年	8年	9年	10年	11年	合計	申請時計画	定員
R6								
R7								
うち新入生								
(応募者数)								
県外出身者								

- ・学校の知名度が徐々に上がってきており、学校 HP を通じての問合せや入学の応募が増えている。
- ・照会や志望者数は増えているが、選考基準を厳しくしていることから、生徒数は比較的緩やかな増加となっている。
- ・再来年度（2027 年度 8 月から始まる年度）以降にさらに生徒数を増加するためには寮施設の拡充が必要となる。

2 教職員の状況

(単位:人)

		校長	教頭	教諭	助教諭	講師	養護教諭	助手	事務職員	合計
計画	計	1	1	14	0	0	0	0	2	18
	専任		1	10					1	12
	兼任	1		4					1	6
R7	計	1	1	13	0	1	1	0	7	24
	専任		1	13					6	20
	兼任	1				1	1		1	4
差	計	0	0	▲ 1	0		1	0	5	5
	専任	0	0	3	0	0	0	0	5	8
	兼任	0	0	▲ 4	0	1	1	0	0	▲ 2

- ・教職員確保は順調に進んでいる。
- ・白馬という土地の魅力もあり、本校の特徴的な教育理念に共感して志望する者が多いため、良い人材を選考し採用することができている。
- ・一方で、報酬を日本円で支払うため、このまま長期的に円安が続くと、世界中で活躍できる教職員にとって経済的な魅力が損なわれてしまうという懸念がある。
- ・白馬村の地価高騰や移住希望者の増加による、賃料の高騰及び賃貸物件の不足が常態化してお

り、教職員の住宅の確保が困難になっている点も課題である。

### 3 教育の特徴

- プロジェクト型学習：実社会につながる課題の探究を通じて知識やスキルを身につける教科横断型の学習方法
- Social Emotional Learning（社会性と情動の学び）：人との関わり方や感情のマネジメントなどの非認知能力を身につけるための学び
- アウトドア教育：大自然の中に出て自然との絆を育む中で自然の尊さを学び、生態系の理解を通じてシステム思考を学ぶ教育
- サステナビリティ：持続可能な未来を創るため自分が果たす役割を考え実行に移す学び

今後は、よりサステナブルな運営を心掛け、コンポスト運営、校舎や寮のさらなる断熱改修、ペレットストーブの追加導入等、環境に配慮した取組を推進する。

### 4 収支決算